

点も含めてしっかりと説明させていただきたいと思っております。

○小西洋之君 でしたら、大臣、防衛省として、この④津波の影響の箇所の記載ですね、今何も記載していませんけど、これは記載してないこのままであって、これを間違えとして撤回するのではない、防衛省としてこの部分は撤回する意思はないということでしょうか。はつきり答えてください、それだけ。

○国務大臣(岩屋毅君) 例えば、こういう資料の作り方、出し方が適切であったかどうかということも含めて、新しくつくった推進本部で徹底的に検討をしたいというふうに思っております。

○小西洋之君 これはもう、秋田県やあるいはその住民の皆さんを欺く、そうした虚偽の記載の文書だということに私は考えるところでございます。

では、防衛大綱、中期防の方の質問させていただきます。

冒頭、大臣にちよつと申し上げたいんですが、六月七日の参議院の本会議の大綱の大臣の説明の中で、固執することなくという言葉、原稿ですね、我々議員に配られた、また、衆議院では固執することなくというふうに本会議場で言っているのを、とらわれることなくというふうに大臣自身を変えて読み上げて、本会議場で大臣撤回をなさいました。これは二院制ですから、基本、参議院は衆議院と同じ事柄を審議しますので、そうした観点から二院制の在り方そのものに関わる問題、それが一点、撤回されたわけですから、首をかしげていますけれども。

また、もう一つは、実力組織の大臣、トップであるわけですから、大臣の意向だけで本会議における国会への、国権機関への、最高機関への説明を交えるということは許されないうわけですよ、シリアンコントロールの観点からも、これはあらかも本省の戦略企画課がグーグルマップを使って地図を作ったのと同じくらいあり得ない愚かな行為だと思えますが、大臣の見解をお聞かせいただ

けますか。

○国務大臣(岩屋毅君) そのところは、私とはつきに、日頃からできるだけ平たい言葉で話すように心掛けていますので、固執することなくをとらわれることなく言い換えたんですけども、御指摘をいただいて撤回をさせていただいたところでございます。

御注意を受けて、今後こういうことがないようにしたいというふうに思っております。

○小西洋之君 ですから、一院制なんですから、大臣のその場の判断でとつきに本会議での大臣の報告事項の中身を変えていいわけではないわけですよ。これは極めて大問題ですよ。もう本当だったら大臣辞職していただくような、そういう私は話だと思っておりますけど、首をかしげていらつしやいますけれども、大臣がそういうことをされているから、本省の職員はグーグルマップで地図を作ったりするわけですよ。

質問に移らせていただきます。配付資料を皆様に御覧いただけますでしょうか。

先日、トランプ大統領が来日した際に、安倍総理とトランプ大統領が、「かが」ですね、今度改裝して、私はあえてこの質疑では空母化と言いますけれども、「かが」の甲板に乗ったわけがあります。そこで二人でもうめちゃくちゃなことをしゃべっているんですね。

安倍総理の発言のところを下線引いておりますけれども、今後、本艦を改修し、STOVL戦闘機を搭載することで、我が国と地域の平和と安全に一層寄与してまいりますというふうに述べております。

一ページ次をめぐっていただくと、これはハワイのイトハウスのホームページ上のトランプ大統領の発言でございますけれども、まずはこの「かが」のことを、左側ですね、グレートシップというふうな言い方、今度右側です、下線引いたところ、ウイズ・デイズ・エクストラオーディナリー・ニュー・エクイップメント、このニュー・エクイップメントというのがF35でございます、F35

を搭載することによって、アワ・ネーションズ、日米を守る、広範かつ複雑な脅威から、そしてファー・ビヨンドですから、はるかかなたの地域ですね、はるかかなたの地域においても守る。

次ですね、安倍総理をたたえるんですけども、エクストラオーディナリー・マンだとたえながら、安倍総理がやってきたこの「かが」、「いずも」の改修などですけれども、F35を搭載することですけれども、これは同時にアメリカ合衆国の安全保障を促進する、高めることでもある。そして、その下ですけれども、こうしたことを行うことによって、オン・ビハーフ・オブ・オール・アメリカンズ、アメリカ合衆国民のために、アメリカ国民を守ってくれる、セーフガード・アワ・ピープルですから、アメリカ国民を守ってくれる日米の隊員に深く感謝するというようなことを述べているわけでございます。

一ページに戻っていただきました、この安倍総理が言ったSTOVL戦闘機を搭載した「かが」が、問題は、この地域の平和と安定に一層寄与する、この考え方、方針が、左側の、中期防のこれコピーです、中期防の一体どこで読めるんだということでございます。

この中期防の「いずも」の改修の記述の柱書きですけれども、数字の二番、航空優勢の獲得・維持。次ですね、太平洋側の広域な空域を含む我が国周辺空域における防空能力の総合的な向上、これ日本の防衛のことしか言っていないわけですよ。日本の防衛のためにSTOVL戦闘機をつけるような改修をするんだというふうに言っているわけですけれども、防衛省、通告もしていますから、一体どこで安倍総理が言ったこの地域の平和と安定に寄与ということが読めるんでしょうか、中期防の中で、簡潔に答えてください。

○政府参考人(榎道明宏君) 御指摘のように、大綱、中期防の中におきまして、このSTOVL機を搭載するための防空体制の強化を行う、そのために「いずも」の改修を行う。同護衛艦は、改修後も引き続き多機能の護衛艦として、我が国の防

衛、大規模災害対応等の多様な任務に従事するものとすると、こういうことが記載されてございます。

中期防に示されましたこうした内容を実現することによりまして、我が国と地域の平和と安定に一層寄与することができるといふものというふうを考えております。

○小西洋之君 要するに、今おっしゃった多様な任務、ここで読むということでもよろしいですね。それだけ答えてください。多様な任務ですね。時間がありません。

○政府参考人(植道明宏君) 防衛体制の強化、我が国の防衛を始めとする多様な任務ということでありませぬ。

○小西洋之君 今局長が言っているところは、私が線を引いたところから二行目のところなんです。この多様な任務というところで、安倍総理の、このロナルド・レーガンとも、攻撃型空母とも一緒に訓練やっているんですけども、そうした地域と平和の安定に、この「かが」を使って、「いずも」を、改修後のものを使っていくということを読んでいるわけでございます。

これ、中期防の文章構造からそんなもの読めるわけじゃないですか、これ。ここで言っている多様な任務というのは、大臣も言っているように、何か医療のときの対応をするとか、あるいは災害のときの対応をするとか、そういうことにも使っていく多目的な多機能の護衛艦ですよ、だから多様な任務を担うんですよ、そういうことを言っているだけであつて、この多様な任務のところではアメリカを守るための実力行使、あるいはアメリカ軍と一体化、事実上一体化するようなことを読むと言ったら、これももうめちゃくちゃですよ。そういうことを今やるうとしていっているわけでありませぬ。

では、大臣に伺いますけれども、先ほど私が紹介したトランプ大統領の発言、あるいはこの安倍総理の発言ですけれども、これももう明確にアメリカという国を守る、あるいはアメリカ国民を守つ

てくれるというふうには言っていますから、この「かが」の、あるいは「いずも」の改修、STOVL機の搭載というの、すなわちこの大綱、中期防というのは、専守防衛を逸脱して憲法に違反する他国防衛そのものじゃないんですか。

○国務大臣(岩屋毅君) 中期防におけるこの「かが」といいますか、「いずも」型護衛艦の改修については、先ほど局長が説明したとおりの記述になっているわけですが、そもそも大綱、中期防がセットで我が国の防衛方針を示しているものだと思います。

防衛大綱では、言うまでもないことながら、日米の同盟は我が国のみならずインド太平洋地域、さらには国際社会の平和と安定及び繁栄に大きな役割を果たすんだということを述べているわけですから、そこは私は矛盾はないものというふうには思っております。

トランプ大統領の発言について一々コメントすることは控えたいと思いますが、いずれにしても、この「いずも」型の護衛艦の改修は米軍のために行うのではなくて、我が国が主体的に我が国防衛のために判断をしているところでございます。

○小西洋之君 いや、私が申し上げているのは、この「いずも」型改修の中期防等々を公表した以降、大臣、国会などで我が国防衛のためだとして言っていないわけですよ。地域の平和と安定、みんなはるか地域のことまでなんか言っていないわけですよ。しかも、これトランプ大統領は明確にアメリカ国民を守る、そうしたことをやっていくと感謝していることを言っているわけですから、これは他国防衛そのものじゃないですか。少なくともアメリカはこの「かが」がアメリカ軍を、アメリカ国民を守つてくれると、大統領はこれ明言しているんです、「かが」の甲板上で。

大臣、次の質問ですが、こういうことをすると、いざアメリカが地球の裏側などで戦争を始めるときに自衛隊を出してくれと言ったときに、これ断れなくなるんですよ、政治的に。このトラン

プ大統領、あのグレートシップをアメリカ国民のために、アメリカの兵士のために出してくれと言ったら、これ政治的に断れなくなるんですよ。アメリカの戦争に引きずり込まれることになるんじゃないですか。

○国務大臣(岩屋毅君) 「いずも」型護衛艦は、まだ改修はしていないわけですが、現在も、例えば戦略的な寄港といいますが、東南アジア各国を中心に寄港を行いつつ、自由で開かれたインド太平洋というビジョンの下に地域の安定のために活動をしているというふうには思っております。改修後も当然同様の活動も行うことになるということでございます。

米側がどのような、何といいますが、軍事行動を起こそうとも、我が国があくまで主体的にどのように対応するかは判断をしていくことでございまして、受動的にお付き合いするということではございませんので、そこはそうように御理解をいただきたいというふうには思います。

○小西洋之君 主体的に主権国家として外交できないから大相撲の観戦招待なんかしているわけじゃないですか。

この六月の十日から十二日にこの攻撃型空母ロナルド・レーガンと「かが」が一緒に並んだ訓練の写真を防衛省は公表しておりますけど、防衛大臣に伺いますけれども、攻撃型空母と「かが」が一体これ、訓練の目的ですね、各種戦術訓練と書いていますけれども、攻撃型空母と、アメリカ軍のですね、「かが」が一体どういう戦術行為をやっているんですか、何のための訓練なんですか、具体的に答弁してください。

○国務大臣(岩屋毅君) 「いずも」型護衛艦は、これまでもインド太平洋方面のさつき申し上げた派遣訓練、それから米軍を含む地域の様々な国との共同訓練を行っております。

うふうに考えておるところでございます。先生御指摘のような問題が惹起するというふうには考えておりませぬ。

○小西洋之君 だから、何のために使うのかという質問に対して様々な事態の技量の向上だと、これ何にも答えていないじゃないですか。そういう答弁をやっていると、これ本当に戦争に引きずり込まれますよ。戦前だつてそうですよ。これ亡国の道じゃないかというふうな質問、割腹演説をやった議員いますよ。除名しましたよ、議会で。大臣、その当時の軍部の責任者が、何を言うかというふうには暴言を吐いてですね。それと全く同じようなやり取りとしか思えません。何も答えていないじゃないですか。

防衛大臣に伺います、もう時間なので。今回の防衛大綱、中期防を私、見ていて、私はこれ売国行為だと思えます。なぜかという、日米同盟というのは、自衛隊員がアメリカ軍を守るために血を流す、すなわち集団的自衛権、後方支援、そんなことをやってたつて私は毀損しないと思えます。なぜかという、日米同盟に基づくこのレーガンの母港ですよ、在日米軍基地がなければアメリカはアジア太平洋地域で海軍のプレゼンスは持てないわけですよ。膨大な犠牲を払っている嘉手納あるいは三沢、そうしたような基地がなければ空軍力のプレゼンスを失うことは、それは分かる、当たり前のことです。

アメリカは日米同盟によって地上最大のグッドデイルをやっている、トランプ大統領やアメリカ国民にとつて。それが日米同盟の本質であり、今までの自民党政権はそういう理解の下でこれを双務条約と言っていたわけですよ。にもかかわらず、アメリカは日米同盟によって、在日米軍基地によって計り知れない利益を得ているにもかかわらず、なぜ自衛隊員がアメリカ軍のために、あるいはアメリカ軍を守る集団的自衛権を發動しなければ日米同盟が壊れるのかどうか、明確に答えてください、なぜ壊れるのか。

○国務大臣(岩屋毅君) 我が国を取り巻く安全保

障環境というのは、残念なことですけれども、一層厳しさを増していると認識しておりますし、加速度的に変化をしているというふうに思います。そういう中であって、国民の命と平和な暮らしを守り抜くためには、まず我が国が防衛力、抑止力を一層強化することと同時に、日米同盟の対処力向上を図って、全体としての抑止力を一層充実させることが必要だというふうに思っております。

当然、安保条約に基づいて米軍に基地を提供しているわけですが、それらも相まって、我が国のみならず、地域、そしてインド太平洋全域の平和と安定に貢献することができてきていると思えますし、そういう役割はこれからも充実させていかなければいけないというふうに考えております。

○委員長(渡邊美樹君) おまとめください。

○小西洋之君 もう終わります。

自衛隊員が命を懸けて集団的自衛権を発動してアメリカ軍を守る、そうしなければ日米同盟は本当に毀損するんですかと質問して、なぜそのことを答えないんですか。それはもう防衛大臣失格であるということを上上げて、質問を終わります。

ありがとうございました。